

2026年度日系社会研修 コース概要

No	46
所管センター	沖縄
分野	その他
研修コース名	沖縄における土木設計および地質・土質・地盤調査の実際と運用
受入人数	2
受入時期	下半期
来日日	2026年11月11日（水）
帰国日	2026年12月9日（水）
提案団体	環境サイエンス株式会社
提案団体ウェブサイトアドレス	https://www.esc-pacific.com/
研修員必要資格	現地大学にて地質・地盤・測量および土木分野や環境等に関連する学部を卒業または卒業見込み者
研修員に必要な実務経験年数	不問
研修使用言語	英語、日本語、スペイン語
日本語能力 （JLPT目安）	N5
英語能力	英語でのコミュニケーション可
研修目標	●地質・地盤・測量および土木分野、特に当社の得意とする環境に配慮した土地開発についての最新技術を現場より学び、現地の日系社会のインフラ整備の改善プランを立てる。 ●研修員が地域課題の解決策を見出し、帰国後に実践できる専門的能力を高める。 ●日本文化、特に日本の企業風土を体験を通して、異文化理解を深めることを目指す。
期待される成果 （習得する技術）	●土木設計、建築・地質・環境等の専門知識や最新技術に触れる機会が得られる。 ●環境やSDGsに関連した法律や制度、それらに関する技術を分野横断的に触れる機会が得られる。 ●日本・米国のPE(Professional Engineer)による、深く体系的にかつ理解しやすい土木設計、建築・地質・環境、土地開発についての講義・見学等を実施し、各専門分野についての知識・能力向上を図る。 ●研修での学びを反映した改善プランを作成し、帰国後の活動計画について発表する。
研修計画（内容）	●講義：土木設計計画・解析の基礎と実際について ●講義：土質調査と室内試験計画について ●講義：地盤工学計画・解析について ●講義：地形測量の基礎と実際 ●見学：現場見学、機器説明等
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	●日本の技術士や米国のPE(Professional Engineer)を持った技術者を通して、日本だけでなく中南米で広く認知されている米国の土木設計および持続可能な土地開発に係る法律および制度に対応する技術に触れ、知見を深めることができる。 ●研修で得られる土木設計、建築・地質・環境等の技術や知識、日本企業における技術者としての姿勢等を日系社会へ還元されることが期待され、さらに専門技術や地域性に精通した技術者として活躍する人材の育成に寄与することが見込まれる。 ●中南米出身の既存の日系人職員と触れ合うことで、日本と母国の日系社会の繋がりをより強固なものとする事が期待できる。
応募希望者への特記事項	・英語力があれば日本語能力は不問。 ・スペイン語、ポルトガル語で直接質問希望の場合は、「Jimmy Oshiro(ESC Vice President):j.oshiro@esc-pacific.com」まで。